

「横浜マラソン 2015」公認コース検定の結果について

「横浜マラソン 2015」のコースは、日本陸上競技連盟（以下、日本陸連）公認コース申請予定としていましたが、大会当日に公認コース検定を行った結果、フルマラソンは 186.2m、10 km は 94.1m 距離が不足していたため、日本陸連公認コースとはなりませんでした。

今大会コースの計測にあたっては、高速道路については図面から距離を測り、一般道路及びふ頭内の道路については、事前計測を実施しましたが、高速道路を含めた全コースの自転車計測は、大会当日の交通規制内で実施しました。その結果、誤差が生じたものです。

【誤差が生じた主な原因】

- ・事前計測時に自転車での首都高速道路走行ができなかったことによる誤差
- ・事前計測時に右折時の右車線走行ができなかったことによる誤差 等

【参 考】

- ・ 公認コース（公認長距離競走路）
公認陸上競技場および公認長距離競走路ならびに公認競歩路とは、本連盟競技規則に従い、公認競技会を開催し得る十分な精度のある、適切な施設であることを本連盟が認定したものである。
（公認陸上競技場および長距離競走路ならびに競歩路規程 第 2 条）
- ・ 距離計測
競走（歩）路の計測は、自転車計測およびワイヤー計測によるものとする。
（長距離競走路ならびに競歩路公認に関する細則 第 3 条）
※今回は自転車計測を実施しました。
※計測の際は、コースの最短距離（道路端から 300mm）を計測することとなっています。

横浜マラソン組織委員会 会長 山口 宏のコメント

「事前に準備しておりましたが、距離が短かったという結果になり、参加されたランナーの皆様には大変申し訳なく思います。

次回大会の日本陸連公認コース申請については、日本陸連と協議し、対応を検討していきます。」